

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	P E あいおん		
○保護者評価実施期間	2024年8月16日		～ 2024年8月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4 3 家庭	(回答者数) 3 3 家庭
○従業者評価実施期間	2024年9月10日		～ R6年9月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年9月25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムの多様化	常にアンテナを広げ興味を持ちそうな活動を提供できるよう心掛けています。	プログラムの立案が一部職員に偏っているため、皆が意見やアイデアを出しやすくなるよう工夫を行う。
2	専門性の高い支援	研修や交流会への参加を積極的に行い、知識を取り入れ、支援力の向上を目指している。	研修に参加した職員からの情報共有を積極的に行い、職員の知識を深いものにしていく。報告書を作成し、知識のアップデートを行う。
3	効率的なPDCAサイクル	出来ないことに対してなぜ出来ないのか分析し、成功に近づける工夫を行っている。	広く職員からアイデアを募集し、工夫を増やしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎マニュアルの改善	現在よりも詳細な送迎マニュアルを準備する。	広く意見を求め、詳細なマニュアルを作成する。また緊急時のマニュアルを広く職員に周知する。
2	SNS等の活用	駅から距離があり、通所には不便な場所にあるため、事業所の存在がアピールしにくい。	インスタグラム、Facebookを現在活用しているが、投稿頻度などを踏まえ、事業所としての取り組みを周知できるようにする。
3	記録管理について	研修報告、会議議事録などの雛形がさまざまに存在するため、記録管理に不十分な部分がある。	統一した雛形を用意し、管理方法を統一する。また、職員が同じ情報を得られるよう工夫する。